

報道配布資料

平成 26 年（2014 年）3 月 19 日

所属名	所属長名	部局長名	担当者職・氏名	連絡先
山口県立大学	学長 えさと けんすけ 江里 健輔	附属地域共生センター 所長 かとうだ けいこ 加登田 恵子	附属地域共生センター 専任研究員 こうざき 神崎 あかね	電話 083-928-3495
発表内容の 関係地域	全県、岩国、柳井、周南、山口、防府、宇部、山陽小野田、下関、長門、萩、 首都圏			

1. 件名

平成 26 年度 山口県立大学前期公開授業の開催について

2. 内容

	授業名	概要	①開催期間 ②会場 ③受講料
1	地域学	山口県の自然・文化・政治・経済などの特性や発展の可能性を理解するとともに、地域を創っていく、また、地域を活性化していく能力を身につけることを目指します。 【全10回】	① 4月10日(木)～6月19日(木) ② 山口県立大学 4号館D15教室 ③ 各回500円 (第1回講義は無料)
2	環境問題	身近な環境問題を足元から解決するための知恵と経験を学びます。 自分の生活を再点検しながら、暮らしと環境を変えていくきっかけをつかむ生活者となることを目指します。 【全15回】	① 4月11日(金)～7月25日(金) ② 山口県立大学 6号館F204教室 ③ 各回500円 (10回以上 5,000円)
3	医学	患者自身が医療を選択し決定する「自己決定権」の確立に役立てられるよう、プログラムを構成しています。 人間をトータルに捉え、多方面から医学・医療を解説していきます。 【全15回】	① 4月14日(月)～7月28日(月) ② 山口県立大学 本館A32教室 ③ 各回500円 (10回以上 5,000円)
4	生命と生活の質特論	心理的・社会的・メディカルな観点から、生・老・病・死の意味、障害者の当事者人権について、また世界の人々の暮らしとの対比など、ディスカッションやワークショップ形式の学びの中で、「今・ここ」を問いかけます。 (大学院授業) 【全15回】	① 5月10日(土)～6月28日(土) ② 山口県立大学 4号館D14教室 ③ 各回500円 (10回以上 5,000円)
5	環境理論特別講義 I	「今、地球はどうなっているのだろうか？」 環境問題に関わるトップレベルの研究者が、地球環境問題の今とこれからの対策について語ります。 【全3回】	① 5月10日(土)・5月17日(土)・ 5月24日(土) ② 山口県立大学 4号館D12教室 ③ 各回500円

3. 申込方法

- (1) 電話、FAX またはハガキで、住所、氏名（ふりがな）、電話番号・FAX 番号を、申し込み先
＜山口県立大学附属地域共生センター生涯学習部門＞までお知らせください。
受講票を送付いたします。
- (2) 部分受講も可能です。また、開催期間中は、随時受付いたします。

4. 問い合わせ先・申し込み先

〒753-8502 山口市桜島 3 丁目 2 - 1

山口県立大学附属地域共生センター 生涯学習部門

電話・FAX 083-928-3495



地域学

4月10日(木)

～6月19日(木)

12:50 から 14:20 まで

山口県立大学 4号館 D15 教室

山口県の自然・文化・政治・経済などの特性や発展の可能性を理解するとともに、地域を創っていく、また地域を活性化していく能力を身につけることを目指します。

回	月 日	講義テーマ	概 要	講 師
1	4/10 (木)	地域学入門	①地域学とは何か、②地域学を学ぶ必要性は何か等について学ぶ	三好 猛 (山口県立大学 非常勤講師)
2	4/17 (木)	故郷論	①地域学から見た故郷、②故郷の発生、③故郷への向き合い方等について学ぶ	三好 猛 (山口県立大学 非常勤講師)
3	4/24 (木)	山口の自然	山口県の自然の特性、またエコツアーの特性を、秋吉台を中心に学ぶ	庫本 正 (秋吉台科学博物館 名誉館長)
4	5/1 (木)	工学からみた山口 【遠隔授業】	鉄道の「父」井上勝、貴婦人号、錦帯橋と木組み技法の継承など、山口に縁の深い工学的事柄について教育の立場から学ぶ	稲垣 詠一 (山口東京理科大学 教授)
5	5/8 (木)	山口の歴史 (1) 中世	中世の山口にまつわる伝承から、山口県の歴史と地理的環境について学ぶ	金谷 匡人 (山口県文書館 副館長)
6	5/22 (木)	山口の歴史 (2) 明治維新	イギリスの資料を用い、幕末史について、イギリス側、日本側の両視点を比較しながら学ぶ	田口 由香 (大島商船高等専門学校 講師)
7	5/29 (木)	山口の経済と産業 【遠隔授業】	山口の経済、産業発展の歴史と産業特性について学ぶ	宗近 孝憲 (山口経済研究所)
8	6/5 (木)	山口の政治	山口の政治風土、特に近代以降の日本政治に果たした役割と山口県民の政治意識について学ぶ	井竿 富雄 (山口県立大学 教授)
9	6/12 (木)	山口の文化 (1) 山口の近・現代文学	山口の文化、特に山口の近・現代文学について学ぶ	加藤 禎行 (山口県立大学 講師)
10	6/19 (木)	山口の文化 (2) 地域での映画上映	上映活動 (HAGI 世界映画芸術祭) の実践と地域文化について学ぶ	山本 章三 (萩市役所総務部 次長)

※ 第4回、第7回の授業は、山口東京理科大学からテレビ会議システムを使って行います。【遠隔授業】

※ 登壇講師の職位は、平成26年2月28日現在のものです。

受講料 各回 500円 (第1回については無料)

◆ お申し込み・問い合わせ 電話、FAXまたはハガキで、下記までお申し込みください。

山口県立大学附属地域共生センター 生涯学習部門

電話/FAX 083-928-3495 〒753-8502 山口市桜富3丁目2-1

受講にあたって

- ◆ 部分受講もできます。
- ◆ 全回受講された方には、「山口県立大学公開授業受講修了証書」を授与いたします。
- ◆ 講義会場のD15教室は、土足厳禁です。スリッパ等、室内履きを御持参ください。

会場地図



平成 26 年度 山口県立大学前期公開授業「地域学」 受講申込書

山口県立大学附属地域共生センター 生涯学習部門 宛

電話/FAX 083-928-3495

(ふりがな) お名前	
ご住所	〒
電話・ FAX 番号	電話 FAX

授業概要：福島第一原発事故での原発安全神話の崩壊、続く放射能安全神話の発生。「環境問題は専門家にまかせておくしかない地球レベルの問題だ」という”常識”も崩壊した。物事を根本から問い直し、身近な環境問題を足元から解決するための知恵と経験を学ぶなかで、身の周りで何か問題が起こったら、と想像できる感性を育てると共に、みずからの暮らしを守るために行動に移す勇気を培います。現場の声に耳を傾け、マスコミには載らない情報に触れることで、さまざまなマインドコントロールを越えて、自分の生活そのものを再点検しながら深く考え、足元から暮らしと環境を変えていくきっかけをつかむ生活者となることを目指します。

環境問題

平成 26 年 4 月 11 日(金)～7 月 25 日(金) 10 時 20 分～11 時 50 分

山口県立大学 6 号館 F 204 教室

講師：国際文化学部教授 安溪 遊地

①	4. 11 (金)	何が真実か？ - 学者の責任・マスコミの責任・生活者の責任
②	4. 18 (金)	田中正造・宇井純・高木仁三郎 - 被害者の側に立った先人達に学ぶ
③	4. 25 (金)	チェルノブイリから福島へ - 低線量ひばくについての隠された事実
④	5. 2 (金)	山口県内の上関原発計画 - 祝島住民の国策との 30 年のたたかい
⑤	5. 16 (金)	奇跡の海を守る - 生物多様性からみた瀬戸内海 (山口市・安溪貴子・生態学)
⑥	5. 23 (金)	環境破壊の原動力としての「お金」を問い直す(1) - 「お金」が通用しない世界で
⑦	5. 30 (金)	環境破壊の原動力としての「お金」を問い直す(2) - 日本人の「地球2個分の暮らし」
⑧	6. 6 (金)	「便利さ」を問い直す(1)いつも「食品の裏側」を考える習慣を！
⑨	6. 13 (金)	「便利さ」を問い直す(2)身近な電磁波を計って見よう(県立大教授・新谷 明雲・物理学)
⑩	6. 20 (金)	戦争こそ最大の環境破壊(1) 沖縄戦・ベトナム戦争の枯葉剤・911の疑惑と対テロ戦争
⑪	6. 27 (金)	戦争こそ最大の環境破壊(2) 米軍基地と共存する暮らしとは (元岩国市長・井原勝介)
⑫	7. 4 (金)	未来へ(1)「若者が帰ってくるふるさと」をつくる (阿武町議・白松博之)
⑬	7. 11 (金)	未来へ(2)エネルギーも食料も自給できる
⑭	7. 18 (金)	超便利社会との共生 (県立大教授・新谷 明雲・物理学)
⑮	7. 25 (金)	Small is beautiful いま足元から生きるために (県立大教授・安溪遊地、新谷明雲)

受講料:1回 500 円(10 回以上 5,000 円)

お申し込み・問い合わせ：電話、FAX またはハガキで、下記までお申し込みください。

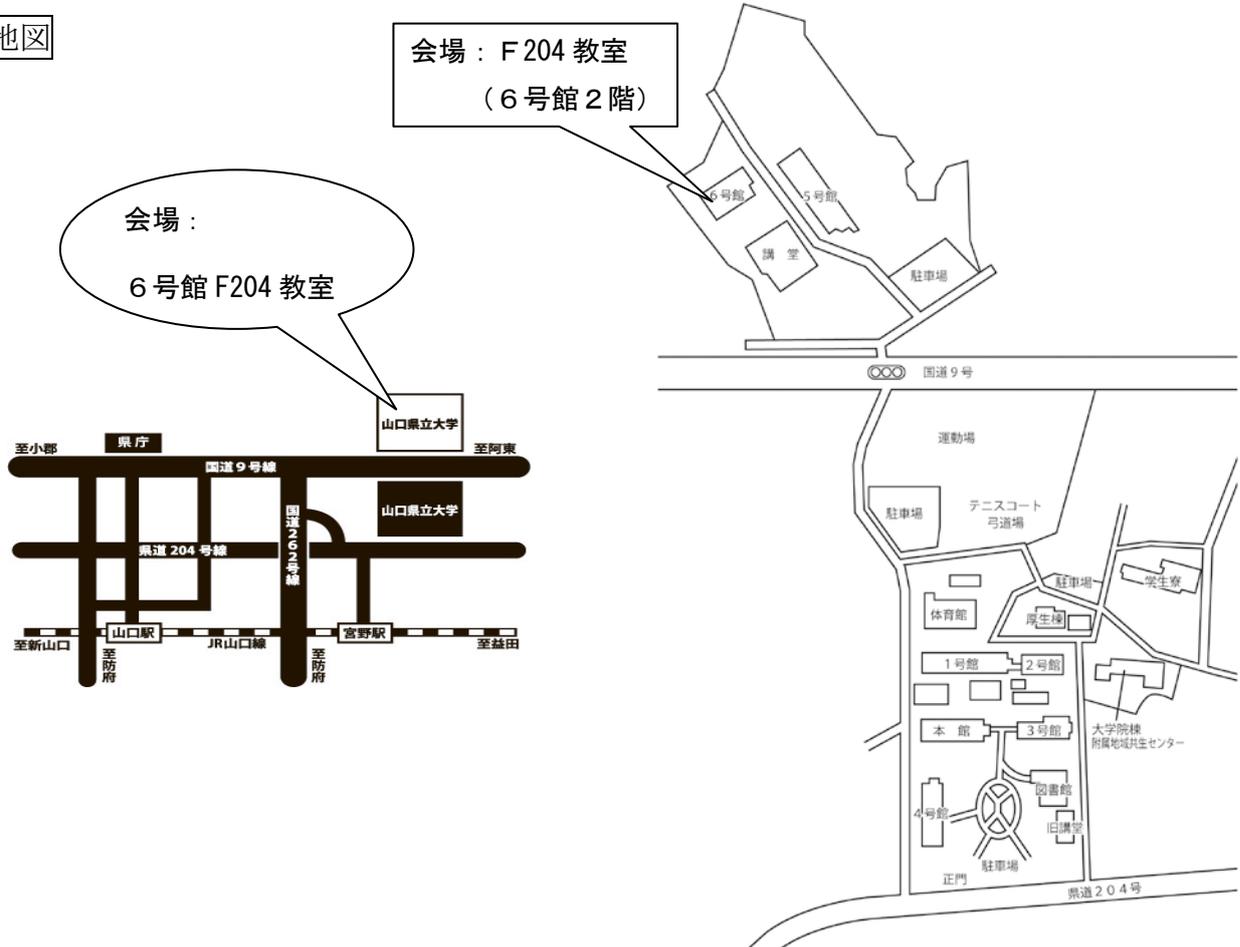
山口県立大学附属地域共生センター 生涯学習部門

【電話/FAX】 0 8 3 - 9 2 8 - 3 4 9 5 〒753-8502 山口市桜畠 3 丁目 2 - 1

受講にあたって

- ◆ 部分受講もできます。
- ◆ 13回以上受講された方には、「山口県立大学公開授業受講修了証書」を授与いたします。

会場地図



平成 26 年度 山口県立大学前期公開授業「環境問題」受講申込書

山口県立大学附属地域共生センター生涯学習部門 宛

電話/FAX 083-928-3495

(ふりがな) お名前	
ご住所	〒
電話・FAX 番号	電話 FAX

医学

開講期間：平成26年4月14日(月)～7月28日(月)

時間：各回17時50分から19時20分まで

会場：山口県立大学本館 A32 教室

受講料：各回500円(10回以上5,000円)

医学・医療の進歩は著しく、それに従事する人はもとより、受ける人も医療の水準を知ることが大切です。また、「命」は医師のものではなく患者のもので、この授業は、患者自身が医療を選択し決定する、いわゆる「自己決定権」の確立に役立つものとなっています。そこで、人間をトータルに捉え、多方面から医学・医療を解説するようにプログラムを組み立てております。

回	月日	テーマ	講師
1	4月14日 (月)	人体の構造と機能	山口県立大学学長 長坂祐二
2	4月21日 (月)	生活習慣病(1) ロコモティブシンドローム とメタボリックシンドローム	山口大学医学部附属病院長 整形外科学分野教授 田口敏彦
3	4月28日 (月)	医療倫理	山口県立大学看護栄養学部教授 田中愛子
4	5月9日 (金)	救急医学	地方独立行政法人山口県立病院機構理事長 山口県立総合医療センター院長 前川剛志
5	5月12日 (月)	医療における薬剤師の介入	山口大学医学部附属病院薬剤部長・教授 古川裕之
6	5月19日 (月)	生活習慣病(2) 乳がん	山口県立総合医療センター外科部長 野島真治
7	5月26日 (月)	ストレス応答と病気	山口県立大学看護栄養学部教授 吉村耕一
8	6月2日 (月)	生活習慣病(3) 糖尿病	山口県立総合医療センター内科系主任部長 井上 康
9	6月9日 (月)	生活習慣病(4) 脳を守る	山口県立総合医療センター副院長・脳神経外科 山下哲男
10	6月16日 (月)	生活習慣病(5) 日本人に多い癌 ～胃がん	山口大学大学院医学系研究科器官病態外科学分野准教授 榎 忠彦
11	6月23日 (月)	臓器移植	山口大学大学院医学系研究科泌尿器科学分野准教授 内山浩一
12	6月30日 (月)	婦人疾患 ～HPVと子宮頸がん	山口県立総合医療センター外科系主任部長 上田一之
13	7月7日 (月)	再生医療	山口大学大学院医学系研究科器官病態外科学分野教授 濱野公一
14	7月14日 (月)	求められる医療人とは	山口県議会議員 藤井律子
15	7月28日 (月)	いのちへの寄り添い ～がんと緩和ケア～	山口赤十字病院名誉ホスピス長 すえなが内科在宅診療所院長 末永和之

♡ お申し込み、問い合わせについての詳細は、裏面をご覧ください。

♡ 本講義は通常月曜日開催ですが、第4回講義のみ金曜日開催となります。お間違いのないようご注意ください。

♡ 登壇講師の職位は、チラシ作成時点(平成26年3月6日現在)のもので、ただし、就任が公表されているものについては、新職位を記載しています。

回	月 日	テーマ	講義概要
1	4/14 (月)	人体の構造と機能	人体を、個体レベル、器官系レベル、臓器レベル、組織レベル、細胞レベルの階層別に観察することを通して、人体の構造と機能を理解する方法を解説します。
2	4/21 (月)	生活習慣病（1） ロコモティブシンドローム とメタボリックシンドローム	メタボリックシンドロームと、最近話題になっているロコモティブシンドロームとの関係について、「加齢」「運動」という観点から解説します。
3	4/28 (月)	医療倫理	命を救うためには、第三者には容認出来ない事象を取扱うことが医療人に許されています。このため高い倫理が求められます。一般倫理と異なる医学倫理の特殊性を学びます。
4	5/9 (金)	救急医学	救急医療には社会的意義もあり、軽症患者から重症患者まで来院するので、幅広くかつ高度の医学知識が要求されます。各種傷病の病態把握、重要臓器の機能維持や保護も学びます。
5	5/12 (月)	医療における薬剤師の介入	新たな医薬品開発による医療への貢献と、医薬品がもたらす有害作用について学びます。
6	5/19 (月)	生活習慣病（2）乳がん	本邦では近年乳がん患者が急増していますが、早期診断・治療により、予後は必ずしも悪くありません。近年の診断法、治療法および乳がん増加の理由について解説します。
7	5/26 (月)	ストレス応答と病気	ストレスに適切に対応するためのストレス応答の仕組みが破綻すると病気の発症や悪化につながります。ストレス応答と病気について解説するとともに具体例も示します。
8	6/2 (月)	生活習慣病（3）糖尿病	糖尿病は、食生活の欧米化による現代病です。糖尿病の多くは、生活習慣をコントロールすることで予防できます。糖尿病よりも、糖尿病で生じる合併症が致命となります。
9	6/9 (月)	生活習慣病（4）脳を守る	長年の生活習慣により脳への危険が迫り、やがて脳卒中や認知症となって症状を出します。脳を守る自然のメカニズム、病気による破壊、医療が行う方法について解説します。
10	6/16 (月)	生活習慣病（5）日本人に多い癌 ～胃がん	日本人の3人に1人が癌で死亡します。癌の予防、癌の克服など、癌の基礎知識を予め持つことが大切です。わが国に多い癌の一つである胃がんについて概説します。
11	6/23 (月)	臓器移植	臓器移植に関する医学的側面と社会的側面を解説します。脳死移植、心停止後移植、生体移植の違いを述べ、日本における臓器移植の現状を解説します。
12	6/30 (月)	婦人疾患 ～HPVと子宮頸がん	子宮頸がんの発症にHPV（ヒトパピローマウイルス）が関係していることが明らかになり、またHPVに対するワクチンが開発されました。子宮頸がんの治療戦略について考えます。
13	7/7 (月)	再生医療	生命は限られています。永遠に生き長らえることは人の夢です。細胞を再生出来ればこの夢がかないます。再生医療の現状を紹介し、社会にもたらす影響を検討します。
14	7/14 (月)	求められる医療人とは	看護師勤務や、夫・家族の看取りの経験を活かした「命を守る」ための県議の活動を通し、医療人に求められる姿勢、心のあり方を考えます。
15	7/28 (月)	いのちへの寄り添い ～がんと緩和ケア～	いのちとは何か？自分のこの世の存在とは何か？生死の世界に直面した患者と、家族の苦しみに寄り添うことの大切さを、ホスピスの現場からお伝えします。がんについて述べます。



◆◆ お申し込み・問い合わせ ◆◆

電話、FAXまたはハガキで、下記までお申し込みください。

電話/FAX 083-928-3495

〒753-8502 山口市桜島3丁目2-1

山口県立大学附属地域共生センター 生涯学習部門

◆ 部分受講もできます。

◆ 13回以上受講された方には、「山口県立大学公開授業受講修了証書」を授与いたします。

.....平成26年度 山口県立大学 前期公開授業「医学」受講申込書.....

お名前(ふりがな)	
ご住所	〒
電話・FAX番号	電話 FAX

生命と生活の質特論

心理的・社会的・メディカルな観点から、生・老・病・死の意味、脳死・安楽死と人格概念、終末期ケアをめぐる問題や病者・障害者の当事者人権について、また世界の人々の暮らしとの対比で、「今・ここ」を問いかけます。自由なディスカッションやワークショップ形式の学びあいの中で、認識を深めていきます。

5 月 10 日(土)～6 月 28 日(土) 山口県立大学 4 号館 D14 教室

受講料 1 回 500 円 (10 回以上 5,000 円)

回	月日	時間	テーマ	講師
1	5月10日(土)	9:00-10:30	QOL とは何か？ 大学院で学ぶとはどういうことか？	担当講師全員
2		10:40-12:10	医療における QOL — QOL の評価方法(1)	健康福祉学研究科教授 吉村 耕一
3	5月17日(土)	9:00-10:30	〈生〉をめぐる人権のゆらぎ	健康福祉学研究科教授 志村 哲郎
4		10:40-12:10	〈死〉をめぐる人権のゆらぎ	
5		13:00-14:30	医療における QOL — QOL の評価方法(2)	健康福祉学研究科教授 吉村 耕一
6	5月24日(土)	9:00-10:30	〈生〉〈老〉〈障〉〈病〉〈死〉と ライフ・コース	健康福祉学研究科教授 志村 哲郎
7		10:40-12:10		
8		13:00-14:30	医療における QOL — QOL 向上のための医療技術開発	健康福祉学研究科教授 吉村 耕一
9	5月31日(土)	9:00-10:30	〈人のいのち〉の値段と〈お金〉のこと — アフリカの森に暮らして考えたこと	国際文化学研究科教授 安溪 遊地
10		10:40-12:10	世界を旅して	
11	6月14日(土)	9:00-10:30	ただいま大規模人体実験中 — 日本人の〈地球 2 個分の暮らし〉	
12		10:40-12:10	QOL ワークショップ — 自然にふれる・いのちを感じる	
13	6月28日(土)	9:00-10:30	グループディスカッション(分科会)	健康福祉学研究科教授 志村 哲郎
14		10:40-12:10	分科会の報告と質疑応答	国際文化学研究科教授 安溪 遊地
15		13:00-14:30	まとめ	健康福祉学研究科教授 吉村 耕一

お申し込み・問い合わせ 電話、FAX またはハガキで、下記までお申し込みください。

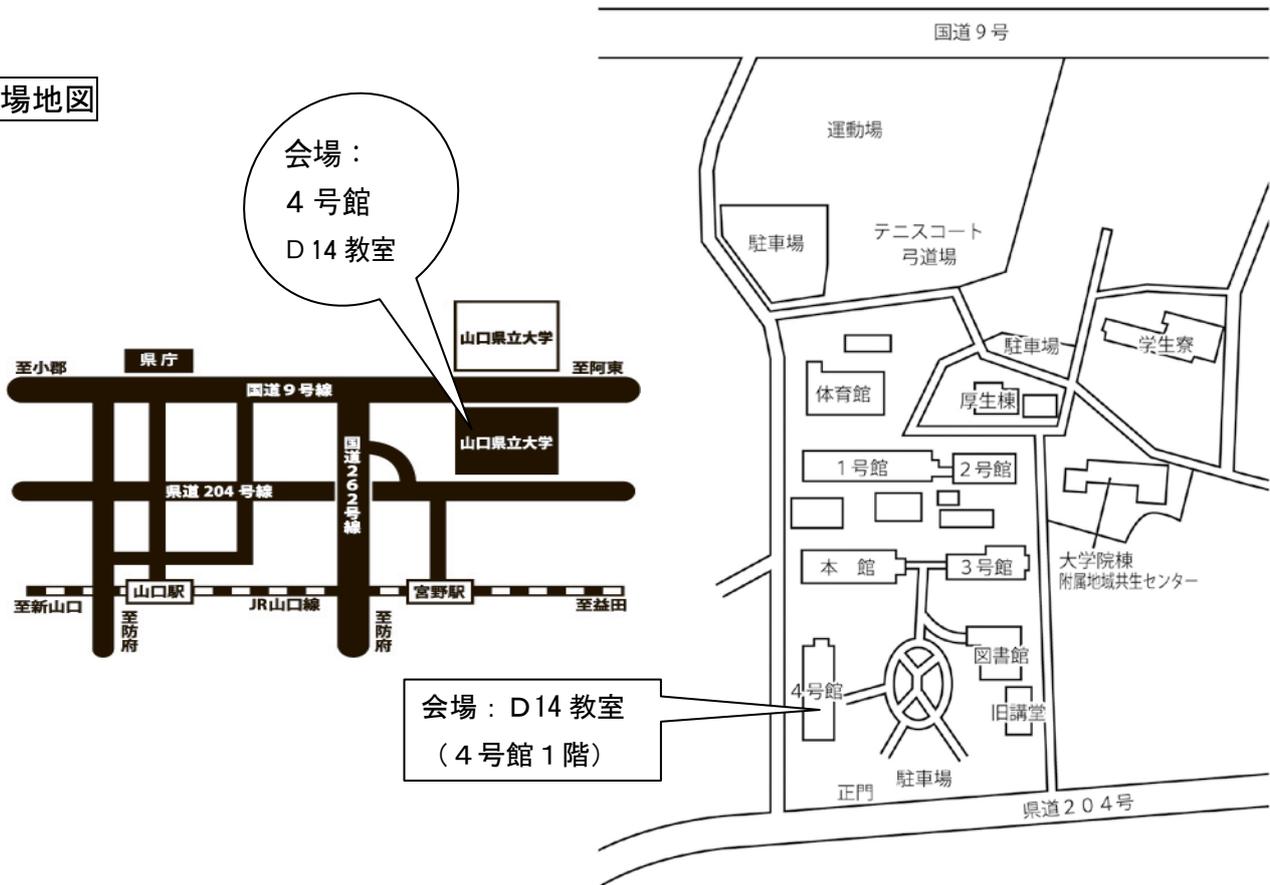
山口県立大学附属地域共生センター 生涯学習部門

電話/FAX 083-928-3495 〒753-8502 山口市桜島3丁目2-1

受講にあたって

- ◆ 部分受講もできます。
- ◆ 全回受講された方には、「山口県立大学公開授業受講修了証書」を授与いたします。

会場地図



◆◇ 平成26年度 山口県立大学前期公開授業「生命と生活の質特論」受講申込書 ◆◇

山口県立大学附属地域共生センター 生涯学習部門 宛

電話 / FAX 083-928-3495

(ふりがな) お名前	
ご住所	〒
電話・ FAX 番号	

環境理論特別講義Ⅰ



今、地球はどうなっているのだろうか？
環境問題に関わるトップレベルの研究者が、地球環境問題の今と
これからの対策について語ります。

5月10日(土) 5月17日(土) 5月24日(土) 9:00~12:10

会場：山口県立大学 4号館 D12 教室 受講料：1回 500円

回	日時	テーマ	概要	講師
1	5/10 (土) 9:00~ 12:10	壊れやすくつくる？ ：グリーンウォッシュの視点	国際的な重要課題の一つである「持続可能な消費」を消費者の立場からとらえ、消費を通して社会の変革を図るにはどのように行動できるのか。	東京都市大学環境情報学科 教授 中原秀樹
2	5/17 (土) 9:00~ 12:10	日本の原発・エネルギー政策	福島原発事故以降、原発・エネルギー政策の変化の方向や方向性を決めた要因について考えます。電力システム改革、再生可能エネルギー、地球温暖化防止についても言及します。	京都大学大学院経済学研究科 教授 植田和弘
3	5/24 (土) 9:00~ 12:10	グリーン経済への変革	世界的に議論が進むグリーン経済。グリーン経済とは何か？既に始まっている世界の動きと今後の方向性について語ります。	東京大学 名誉教授 山本良一

部分受講もできます。なお、全回受講された方には、「山口県立大学公開授業修了証書」を授与いたします。

お申し込み・問い合わせ：電話、FAX またはハガキで、下記までお申し込みください。

山口県立大学附属地域共生センター 生涯学習部門

電話/FAX 083-928-3495 〒753-8502 山口市桜島3丁目2-1

会場地図



◆◇ 平成 26 年度 山口県立大学前期公開授業「環境理論特別講義Ⅰ」受講申込書 ◆◇

山口県立大学附属地域共生センター 生涯学習部門 宛

電話 / FAX 083-928-3495

(ふりがな) お名前	
ご住所	〒
電話・ FAX 番号	